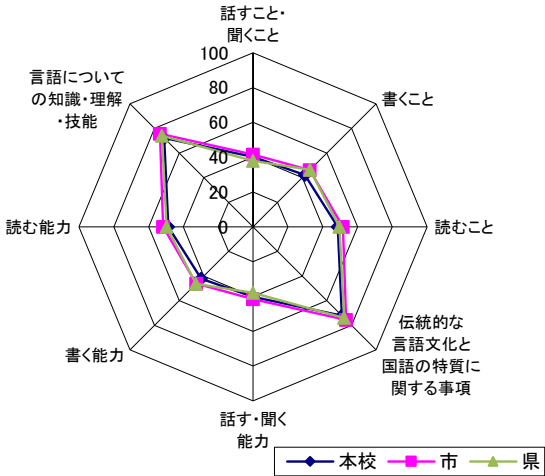


宇都宮市立横川西小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	40.2	41.6	37.9
	書くこと	42.1	46.1	46.3
	読むこと	48.7	51.6	49.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.2	75.6	74.0
観点	話す・聞く能力	40.2	41.6	37.9
	書く能力	42.1	46.1	46.3
	読む能力	48.7	51.6	49.7
	言語についての知識・理解・技能	72.2	75.6	74.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○平均正答率は他の領域に比べて高い。 ●「提案者の役割を理解し、話し合いに参加する」の設問の平均正答率は62.1%で市の平均よりやや低かった。	・聞くことについては、授業だけでなく学習活動全般において、自分の考えと比べながら聞いたり、発表者の意図に気をつけながら聞いたりするように指導していきたい。 ・話すことについては、伝えたいことを整理し、聞き手に分かりやすい工夫を考えて実践できるように、他教科とも関連付けて指導していきたい。
書くこと	●「資料と話し合いを基に、学級新聞に付け足す文を記述する」設問では、無回答の児童が約20%見られた。	・記述で回答する設問では無回答が見られるなど、記述に関して苦手意識を持っている児童もいるので、他教科とも関連付け、意図的に「書く」活動を取りれるようにし、書くことへの抵抗を減らしていく指導をしていきたい。 ・模範文を視写したり、文の構成を意識して書いたりすることを繰り返し指導することで習熟を図りたい。
読むこと	●「説明文の内容の理解」の平均正答率は50.6%であるのに対し、「文学作品の内容の理解」は、46.7%であり、これは市平均よりも下回った。	・説明文では、段落の関係に気をつけながら、叙述に即して正しく読み取れるように継続的に指導していきたい。 ・物語文では、多くのすぐれた作品に触れる機会を増やすように、読書指導を工夫したい。また、心情や情景を正しく読み取れるように、叙述に即して丁寧に具体的に指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「漢字の読み」の平均正答率91.2%は、市平均を上回った。 ●「漢字の書き」の平均正答率が低く、課題が見られた。	・漢字は読めるが書くことが苦手である傾向が見られるので、日常的に漢字を正しく書くことを意識させるとともに、定期的に繰り返し練習させ、習熟を図っていきたい。 ・言語について、意図的に授業で取り上げ説明補足したり、他教科とも関連付けたりしながら理解できるように工夫していく。